西二小だより

須賀川市立西袋第二小学校
平成２３年４月１９日　第６号
発行者　校長　吾妻　敦
www.nishibukuro2-e.fks.ed.jp/

学校は生きていくために必要な知識や知恵を学ぶ大切な場所で、授業やその他の教育活動などを通して、生き方を考える場を計画的に設けて、必要な資質や能力の基礎づくりを手助けする役割を持っています。だからこそ、学校で起こるどんな小さなトラブルでも、その解決の過程を子ども達に学ばせることが大切になってきます。また、子ども達の目の前で、様々な課題に立ち向かう教師や保護者の真剣な姿が子ども達の手本にもなります。なぜなら、こうした教師や保護者の言動を子ども達は実によく見ているからだと思うのです。

あなたの言った　なにげない言葉
それがあなたの気持ちとちがって
人に伝わることがあるのです
相手が「いやだなあ」と感じ
心の中に「おもし」のように
残ってしまう
それは　もういじめなのです
いじめは、暴力やいやがらせ、
無視する、のけ者にする・・などの
目に見える行動ばかりではありません
なにげないひと言が
いじめにつながることも多いのです
いじめは　するほうが悪いのです
たとえ　どんな理由をつけようと

私たちは　同じ人間として
この世に生まれてきました
すべての人が　みんな同じように
大切にされなければなりません
他人を大切にする人は
自分も大切にできる人です

声を出してください！
目をそむけないでください！
「やめろよ！」と　まわりから
小さな声でも
いじめをにくむ気持ちは広がっていきます
小さな声が　やがて　いじめを許さない
大きな力になっていきます
小さな声から　いじめを許さない
大きな輪をつくっていこう

●●「気になる放射能　Ｑ＆Ａ」　～公立岩瀬病院長並びに県放射線健康リスク管理アドバイザーの講演から～　●●●

２～４マイクロシーベルト/毎時の放射線量の中で、屋外活動を行う際、留意すべき点は何か？	長袖･長ズボン、帽子をかぶる。気温が高くなった時は、熱中症になる確立が高くなり危険なので、時間を決めて活動をさせる。
校庭等で転倒し擦り傷等のけがをした場合、通常の措置でよいか。	水洗いをするなど、通常の措置でよい。水洗い後、ラップを巻くなどすると治りも早い。
野菜作りや米作りなどの栽培活動や花壇の手入れを子ども達に行わせてもよいか？また、収穫物は食べてもよいか？	時間を決めて活動させる。作付け制限の出ているものは栽培を控える。収穫物を食べるのはよくない。
微量でも数ヶ月にわたって、放射線をあび続けることは、人体に影響があるのではないか？	積算量がどの程度あるか、正確に把握しておくことが大切。手洗い・うがい、また、顔を洗うことも効果的である。
水道水の飲用は安全範囲か？	しっかりモニタリングされているので、水を飲むこと、学校給食を食べることについて問題はない。
年間の被ばく線量の考え方は？	マイクロシーベルト/毎時×24h×３６５日で計算できるわけではない。屋外に何時間いるか、屋内（建物の構造による被ばく量の相違）に何時間いるかで線量がかわってくる。自然からの放射線量、食物からの放射線量、土壌からの放射線量等を足したものが実際の年間の被ばく量となる。単純な計算ではない。

●●23 年度、PTA 新役員決まる　1年間よろしくお願いいたします！　●●●●●●●●●

PTA 会長	原田　優一	音体後援会長	渡邉　久記	生活指導委員長	佐藤　朱美
同副会長	伊東　寛岳	同　副会長	黒津　真也	同　副委員長	横田　悟
同　会計	根本　強志	同　会計	和田　直樹	厚生委員長	善方　敏男
会計監査	樽川　孝二	施設委員長	佐浦　寿雄	同副委員長	根本　強志
同	和田　康伸	同副委員長	黒津　真也	教養委員長	小針　正志
同	橋本　直樹			同副委員長	佐藤　恵一